

大月町 議会だより

89号
6月定例会



託す場へ

議会報告会

議会報告会は、4月20日から5月24日までに、古満目、周防形、姫ノ井・赤泊・唐岩、大浦、郷、柏島、安満地、芝、橘浦、清王の10カ所で開催しました。

今後は、平成30年度10カ所、平成31年度10カ所で実施する予定です。意見や要望をお待ちしています。



橘浦地区議会報告会



芝地区議会報告会

もくじ

- 2 P 議会報告会と陳情
- 4 P 条例 専決 補正
- 5 P 契約 意見書 同意
- 6 P 委員会調査報告
- 7 P 一般質問
- 15 P みんなの広場
- 16 P こんにちは

表紙写真によせて



養殖コワリの網仕事をしています。
うだるような暑さの中での網直しですが、
仲間との会話もはずんでいます。笑顔がま
ぶしいですね。

身体には十分気をつけてください。

住民の願い

生きた力として働く

議会報告会は、住民の願いを託す場です。

2巡目になった今回の報告会でもたくさんの参加をいただき、多くの要望や意見が出されました。

安満地地区、大浦地区からは議会報告会の際、陳情書も提出されました。

安満地地区では、地

区長と共に旧保育所からお寺までの間の崩壊

場所を視察し、このま

ま放置すると人家に被害を及ぼす恐れがある

ことを確認しました。

大浦地区では、潮平

の道幅が狭くて不便で

あり、道幅を拡張してほしいと要望が出されました。

6月定例会では、安

満地地区の陳情については「即決」し、執行部へ送付しました。

大浦地区の陳情につ

いては、産業建設常任委員会へ付託し審査す

ることに決定しました。

議会報告会は、生き

た力として働いていま

す。

6月定例会

平成29年6月定例会は15日から20日までの会期で開き、条例専決2件、補正専決6件、条例3件、補正予算3件、契約4件、同意8件（人事7件、その他1件）の計26議案を審議し原案のとおり決定しました。

陳情5件のうち4件は即決し、1件は産業建設常任委員会に付託して審査することにしました。

一般質問は8人が登壇し、子育て支援、大洞山風力発電施設の活用、子どもの貧困対策、道の駅大月、地域おこし協力隊、マダロのまち大月、人口増計画と産業構造などについて執行部をただしました。



安満地地区崩壊現場



道幅拡張が要望された大浦地区潮平



白熱するカン落とし大会

6月議会 提出議案

条例

全員賛成

◆ 児童福祉法改正により、里親規定など大月町職員の育児休業等に関して一部を改正する。

◆ 電柱1本当たり年間共架料を10000円とするなど、大月町地域情報通信基盤施設の設置及び管理条例の一部を改正する。

◆ 柏島地区防災活動センターを追加する大月町防災活動センターの設置及び管理条例の一部を改正する。

補正予算 (専決を含む) 全員賛成

年度	会計名	補正額	総額
平成28年度	一般会計	761万円	49億8709万円
	特別会計 特別養護老人ホーム	△545万円	3億141万円
	国民健康保険	△5642万円	11億8560万円
平成29年度	一般会計	3288万円	44億3388万円
	特別会計 住宅新築資金等貸付事業	3016万円	3082万円
	水道	△560万円	3億3123万円
	特別養護老人ホーム	0円	3億3877万円
	国民健康保険	105万円	11億9777万円

専決処分

全員賛成

◆ 個人住民税の配偶者控除・配偶者特別控除など地方税法の改正に伴い大月町税条例の一部を改正する。

◆ 軽減世帯を拡大する大月町国民健康保険税条例の一部を改正する。



ブリの大漁でにぎわう古満目漁港

問 ベルリーフ大月の改修工事470万円の説明を。

答 昨年度実施したホテル法面の補強工事に伴う追加工事です。

問 防災行政無線の整備工事500万円の場所は。

答 難聴地域の周防形地区、古満目地区、安満地地区の3カ所です。

問 地域おこし協力隊の起業支援200万円の説明を。

答 1人100万円の補助をする2名分の予算です。

問 姫ノ井の水道工事は耐震化になるのか。

答 水道排水用ポリエチレン管を使うので耐震化になります。

契約

全員賛成

◆ 大月小学校教室用エアコン購入

契約金額 739万5840円

契約の相手方 株式会社 富士

高知市竹島町143番地42

◆ 平成29年度小型動力ポンプ付積載車購入

契約金額 753万8400円

契約の相手方 高知消防システム株式会社

高知市介良甲985番地5

◆ 大月町簡易水道施設整備工事(第1工区)

契約金額 7401万7800円

契約の相手方 久米建設株式会社

大月町弘見1604番地1

◆ 大月町簡易水道施設整備工事(第2工区)

契約金額 9261万1080円

契約の相手方 久米建設株式会社

大月町弘見1604番地1

意見書

全員賛成

関係省庁に
送りました



ビキニ核被災事件
救済を求める人たち

◆ ビキニ核被災事件について、日本政府は保管していた資料に基づき、全国の元乗組員の
実態調査を行い、必要な救済措置を講ずるこ
とを求める意見書

◆ 日本政府が核兵器禁止条約の交渉に参加し、
条約実現に真剣に努力するよう求める意見書

◆ 農業者戸別所得補償制度の復活を求める意
見書

同意

全て同意

◆ 大月町農業委員会委員の過半数を認定農

業者等又はこれらに準ずる者とする

◆ 農業委員会委員



田辺 豊浩 氏
(春遠)



兼松 照章 氏
(芳ノ沢)



奥田 守 氏
(赤泊)



安田 勝 氏
(弘見)



森下 誠 氏
(頭集)



松田 照代 氏
(弘見)



長岡 寛司 氏
(弘見)

委員会からの提言

介護職員の確保・待機者^{ゼロ}へ

総務厚生常任委員会

特別養護老人ホーム

「大月荘」、保健介護課、

大月町社会福祉協議会
を訪問調査した。

介護職員の募集に若い人の応募が皆無である。介護職員の安定的確保や介護職員の手当等の課題への対処が必要である。また、各施設へ直接重複して申し込むため、実質の待機者数は把握されていない。

これらのことを解消すべく、「第7次介護保険事業計画」に次の事項を反映するよう提案する。

1 介護職員の安定的確保のため、民間の動向を見据えながら介護職員の手当の増

額を検討すること。

2 デイサービスさん

ご荘の改築については、通所介護利用者の推移に見合った1

日当たり収容定員の増員と施設環境整備を図ること。

3 今後の要介護者の動向を見て、待機者が出ないよう極力施設の増強を図ること。



大月町を栗の里へ

産業建設常任委員会

当委員会は、大月町の優良作物に栗を選定し、仁淀川流域夢甘栗生産者組合（佐川町）を訪ねた。

組合では、栽培管理や収穫の効率化を図るため、樹体を低い木で剪定するわい化栽培をしている。夢甘栗は2年目から結実し、糖度20度の甘さを持つ栗の名品で1本の成木から15キロ、金額にして1万5000円、一反50万円程度の売り上げを可能にしている。ただし害獣対策は必須である。

販売先は武田青果（高知）が受け入れ、ネット販売ではアマゾン、楽天を利用している。栗は、生栗や加工品でも販売できる。加工品は、カステラやタルトなど幅広い利用が可能である。大正の栗焼酎

は、原材料の栗が不足気味で販売先として有望である。

苗木は接ぎ木で増やすことができるため安価で、高齢者でも取り組みができる。

また、耕作放棄地の活用も考えられ、集落活動センター「姫の里」の収益事業にもつなげられる。

執行部には苗木の無料配布を行うなど、基幹産業に発展するような取り組み、大月町全体で栗が植えられ観光産業にまで進化させることを提言する。





久米里志 議員

暮らしやすい町、若者定住の町へ

教育費の完全無償化を

課題は保育料の無償化／町長

問 12月議会で質問し改善が見えるが、通学している道については未だに防犯灯が設置されていない、照明が暗

岡 国も子育て支援施策を多く打ち出している。町も教育費を幼児から高校まで完全無償化し、「子育てしやすい町、暮らしやすい町、若者定住の町へ」を最重要課題として早期実現できないか。

岡田町長 少子高齢化の進む中、5月末の人口で0歳児から4歳児が93人、4歳児から9歳児が148人と、9歳までの人口241人と非常に少なくなっている。子育て支援は児童手当、医療支援、就学支援等々行っている。まだまだ完全ではないが、喫緊の課題は保育料の無償化である。



元気に育て、大月っ子

い、切れたままの箇所がある。また、ガードレールがない危険な箇所や、草木が生い茂っている国道・県道の歩道などの早期対応を。

岡田町長 危険な箇所については、現地調査をして計画を持って早期に取り組む。歩道についても、この実態を踏まえて県に早急に陳情する。

防災活動

小才角地区消防屯所移転は

地形に課題あり／町長

問 大月のブランド開発と発信について聞く。

岡田町長 特産品はあるが、ブランドという意識で商品開発や販売事業を展開して実績を

大月ブランド

開発と発信は

ブランド化を目指してPR

／町長

集約したものはない。新しい品も増えているので、特産品については今後ブランドとなるように発信していく。

問 小才角地区の消防屯所移転について、進捗状況と課題を聞く。

岡田町長 屯所移転を含めた防災拠点の施設整備について、地区とも再三協議を重ねたが、地形的に適地となる用地が少なく、計画自体立てられない状況である。その他にも才角、古満目、橘浦、泊浦が同様で、今後地区から用地の提供がある場合には、移転対応を図っていく。



険しい地形に阻まれる消防屯所移転

大洞山観光開発

観光資源として活用を

7月以降に協議／町長



安岡邦彦 議員

問 風力発電施設工事は来年3月に完成すると聞いている。完成後は観光利用できるのか。

岡田町長 建設工事の状況はすでに基礎工事は終わり、間もなく風車が搬入される。観光利用については風力発電会社交渉する窓口がないので今のところ協議はしていない。7月ごろに管理する職員が赴任するので、そこから集中的に協議を始める。



眺めは最高、大洞山

説明会や協定書に沿った協議を

観光利用を基本に

協議／町長

問 観光道路として一般の人が自由に通行できることは、住民が望んでいることであり変更があつてはならない。山頂に登れば南は太平洋、西は宿毛湾が一望できる絶好の場所であり、町の観光コースに加えなければならない。町長の決意は。

岡田町長 町民が望んでいることは承知している。町の観光振興に必要であり、全面的に開放することを基本的に協議していく。7月以降の協議結果については町民の皆さんに周知していく。

若い職員との対話を

職務に応じた協議の場を

対話を重ねていく／町長

問 世代交代で若い職員が多くなっている。その反面ベテラン職員が少なくなっているのが現状である。将来の大月町を担う職員を早く育てなければならない。町の現状や課題を共有するため、係、係長、補佐等の職務に応じた協議を行い、町の課題の解決策や方向性を共有する仕組み作りを考えているか。

岡田町長 若い職員との対話を重ね意見に耳を傾けることは重要なことと考えている。経験の少ない職員もいるので、地区懇談会等と同席させるなどの対応をしていく。



将来を担う若い職員

子供の貧困対策と就学援助

困難な家庭に支援を

今後の課題である／教育長



浦木秀雄 議員

問 保護者の経済的負担の軽減、子どもたちの学びの支援をどのように考えているか。

浜崎教育長 要保護・準要保護の生徒に対する就学援助、特別支援教育就学奨励費、またきめ細かな学習指導による学力の保障、支援員の増員、放課後子ども教室における学習支援の実施などをしていきたいと考えている。

問 貧困から救済するために、準要保護の家庭に対して、PTA会費、生徒会費、入学準備金など支援の手を差し伸べるべきではないか。

また、奨学金についても検討すべきではないか。

浜崎教育長 準要保護のPTA会費、生徒会費は今後考えていきたい。入学準備金の3月支給は手続き上難しいが検討している。多くの方を救うためにも、民生委員の意見を聞くことは今後も続けていく。

奨学金の支給は検討課題と考えている。



勇壮な太鼓が響く

風力発電と大洞山観光開発

観光開発計画、地元還元は

今から交渉を始める／町長

問 大洞山は林道として自由に通行できる。そこで観光開発を進め、地域貢献、地元還元については業者と話し合うと2年前の議会で約束したがどうなっているのか。

岡田町長 計画は企業に話し合う部署がなかった。7月以降話し合う部署がききるので、そこで観光開発計画、地元還元について業者と話し合っていきたい。

問 来年3月に風車が完成するのに、観光開発の計画も作っていない、業者と話し合いもしていないのでは、計画性に欠けるのではないか。

岡田町長 今から大月町を有利にする方向で交渉をしていきたい。大月町の観光振興、産



大歓声のもち投げ

業振興と結びつくことを基本に交渉したい。

マイナンバー制度

個人番号の注意喚起を

文書は送らない／税務課長

問 住民がマイナンバーの提出を拒否しても罰則は無い。その場合、上部機関にどのように報告されるのか。

平田税務課長 マイナンバー無しと税務署に提出している。

問 町民税特別徴収税額の決定の郵送方法と個人番号の注意喚起は。

平田税務課長 普通郵便で送った。特別徴収者は、個人番号をマイナンバーと分かるので、今後も注意喚起の文書は送らない。

風力発電事業

町財政への効果は

高額な税収見込み／町長



高野真司 議員

問 大洞山風力発電事業による町財政に受ける効果で、町有地の賃貸金額は。

岡田町長 発電の建設に伴い、1号基から3号基の3カ所が町有地で、年間賃貸契約が232万5600円となっている。

問 構造物、道路敷の賃貸料は通常、金額に差異があるが、大洞山風力発電事業はどのようなになっているか。

岡田町長 大洞山の風力発電事業では、構造物、道路敷など一括しての単価となっている。

問 風車関連の構造物に対する固定資産税額は。

岡田町長 風力発電事業施設は、総事業費が100億円程度と報告されている。再生可能

エネルギー特別措置法により課税標準額の3分の1を3年間減額されるが、それでも高額な固定資産税収になると思われる。

問 大洞山風力発電事業者からの町税額は。

岡田町長 法人町民税は事業者の資本金、従業員の数など、開業時の申告により具体的な税額が確定する。

問 風力発電事業の稼働維持、自然環境保護などの協力金は。

岡田町長 風力発電商業運転を開始した年度から20年間、年間300万円である。まちづくり基金に積み立て、運営基準に沿って有効に活用していく。



改修が待たれる道の駅

道の駅改修計画は

社会情勢に合った

大規模改修／町長

問 ふれあいパーク大月は産直市、お土産売り場が別々で便利が悪い。道の駅全体の施設など、大規模改修を計画しているのか。

岡田町長 ふれあい市は夏場の高温時、新鮮な農海産物が傷む状況

にある。また、会計場所が2カ所あり効率が悪いです。

ふれあいパーク大月は産業の拠点、地域振興・観光の拠点、国道321号線の防災道路の拠点ということも踏まえて、大月町の将来

的な核として改造したいと考え、今その作業に入っている。

問 産直市とお土産売り場などの物産を一体化し、弘見側の駐車場に建設。バスターミナルは、二ツ石側の旧イベント場を立体駐車場としバス停と一体化。事務所は現建物の1階、2階は会議や研修室などに。現ふれあい市はイベント場に改造することを提案したいがどうか。

岡田町長 ふれあいパークのリニューアルについては、業者に委託している。

業者の提案に基づいて、できる限り便利の良いものにし、大月町の拠点となるような形にもっていけたらと考えている。



安原明彦 議員

問 外販部門強化で採用された隊員は3年目になるが、その成果は。久松まちづくり推進課長 外商セールズとして町外で営業に出向いて行った回数は、27年度が8回、28年度は5回。成果は、成約件数4件。本町では返礼品の掘り起こしを地場産業の強化と捉え、全国への発信を外商事業と考えている。ふるさと

地域おこし協力隊

3年目になる隊員の成果は

27、28年で成約件数4件

／まちづくり推進課長

振興公社の手数料を含むが、一昨年度は3010万6000円、昨年度は6347万4000円の商品を発送した。

目的外使用で補助金返還の恐れは

返還が生じる恐れはない／町長

問 公社の職員のようになっていると言われているが、近隣市町村では、目的外使用で補助金を返納した事例がある。大月町はその恐れはないのか。

岡田町長 地域おこし協力隊員がふるさと振興公社の仕事を担うこ

とは、自治体ルール違反となるものではない。協力隊の募集を行う際、自治体で自由に活動させることも、それぞれに任務を持たせることも認められている制度で、ご指摘のように返還が生じる恐れはない。



協力隊の足として、東へ西へ

大月町制60周年記念式典

返礼品は大月町産に

基本は町内産に／町長



見事な包丁さばき

問 大月町制60周年記念式典でのお返し物に町外産の物が入っており、残念に思った。こういった大月町の記念事業の返礼品は大月町産にすべきではないか。

問 マグロの解体ショーのために町外の方に26万円ほど支払われたが、今後のふるさと納税でのマグロ解体にかかる費用は。久松まちづくり推進課長 26万は大月町までの旅費を含んだ委託料。一般に近畿地方で委託すると18万程度の委託料となる。

人事異動

職員異動の方向性は

将来に向けた異動／町長



谷 正美 議員

問 この4月に50名を超える職員異動をしているが、異動にあたっての考えを聞く。

岡田町長 住民の要望も多様化している。人材育成等も踏まえ、町の発展、将来に向けた考えの下で異動をした。

問 職員の異動については町長の専権事項であるが、適材適所を考えたか。

岡田町長 異動希望調書も取り、課長等とも相談しながら適材適所を考え異動している。

問 町が取り組むべきは税収を増やすことであり、税金の徴収を強化することではない。まちづくり推進課の1名減と税務課の1名増についての考えは。

岡田町長 増減の配置については全体のバラ



新体制でスタート

ンスを考えた。どこかを増やせばどこかが不足する。各課は連携を取ってやっている。税務課においては、退職により不足していたため補充した。

問 1年で異動させた職員が5、6名いる。仕事を覚えるまでの間の停滞が生じれば町民の損失にもなる。人を育てるという町長の考

えと逆行している。その道のプロフェッショナルを育てるべきではないか。

岡田町長 退職との兼ね合いもある。1年で代わらなければならぬ事態も発生する。1年で異動しても職務が停滞するとは考えていない。職員は奉仕者ということを念頭に置いて仕事をしている。

マグロの町

取り組みを聞く

道の駅を拠点とする／町長

問 高知県のマグロ生産量は鹿児島、長崎に次いで第3位である。市町村単位で考えれば生産量日本一の町であると考え。マグロを利用して町の活性化につなげるべきだと思うが、どのように取り組んでいくのか。

岡田町長 道の駅を拠点に、町内でもマグロを食べられるようマグロのまち大月として売り出していきたい。そのため、マグロの町推進協議会を設立した。

問 マグロのまちとして町の活性化を考えるならば、安価に提供できるよう、町内4業者などとの連携を図るべきではないか。

岡田町長 昨年、古満目に完全養殖を目指した種苗水産試験場が設置されたので、安くて品質の良い稚魚の供給ができ、仕入れ価格も下がってくると考える。4業者とは年に一度

は会合の機会を設けているので、地域振興についても協力をお願いする。



出荷されるマグロ

道の駅大月

改修計画の具体的内容は

大月の核としての機能を

／町長



野村満久 議員

問 道の駅大月「ふれあい市」は幾度か改修をしてきたが根本的な改善ができていない。空調が効かないための野菜などの品質低下、お土産売り場と産直市の両方に人員配置をしているロス、駐車場の傾斜による事故などの問題がある。改修計画があるようだが、具体的にどうなっているのか。

岡田町長 「ふれあい市」だけでなく道の駅全体として現在検討している。将来的には産業振興、観光振興、防災の拠点等、大月の核として機能させたい。29年度中に方向性を示したいと考えている。



どう変わる、道の駅

問 高齢化が進む中、出品物を作れてもそれを持つてこれなくなる方が多くなると思うが、軒先集荷等を考えてはどうか。高齢者の生きがいづくり、健康増進、耕作放棄地の改善、収益増、見守り、移動手段の確保、買い物支援等、トータル的なケアができるのでは。

岡田町長 集落に1カ所か、軒先集荷なのか、そういった方向も取り入れていきたいと考えている。

公衆トイレ

バリアフリー化を検討している／町長



観光客にも快適なトイレを

問 小才角休憩所をはじめ観光関連トイレ、また総合グラウンドのトイレのバリアフリー化を含めた改修は。改修の見込みが立たないのであれば簡易トイレの方法もあると思う。災害避難時のトイレは、衛生面で大きな問題になるので早急な対応を。

岡田町長 町内の観光関連トイレに関しては、バリアフリー化等も踏まえ観光事業審議会と協議検討を進めている。早急に整備していきたいと考えている。

浜崎教育長 総合グラウンドのトイレに関しては、スポーツ施設整備事業交付金で検討したが、トイレのみでは対象にならなかった。また、イベントや災害避難時に活用できる施設として見積もりを取り、町単独費で検討を重ねたが当初予算では計上できなかった。その他の補助金制度が活用できないか検討し、できれば早期に改修したい。

地方創生

産業振興と人口構造計画

次期5カ年計画で／町長



山本恒和 議員

問 大月町創生総合戦略の推進には、産業振興計画と人口構造計画が重要な課題となる。それらを支援する各政策が必要になるので、未来課を創設し大幅に人員投入すべきではないか。

岡田町長 大月町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、目標達成に向け取り組んでいる。今年度以降3年間は、住む場所・働く場所の確保、子育て支援事業を中心に、移住・町内出身者のUターン支援に重点を置いた事業を展開している。現在の人口は5292人、高齢化比率44%、今は基礎作りの段階であるのでこの状況を踏まえ、平成32年度以降の5カ年計画に具体的計画案が策定できるよう進めている。

地域振興

幡多特区制を

他市町村に提案する／町長



観光客でにぎわうふれあいパーク

問 幡多6市町村を一つと考え、地域活性化、少子高齢化対策を軸とした高知県版の特区制を申請し、大月町創生総合戦略の促進強化を図ってどうか。

岡田町長 幡多は一つということ、6市町村共同でさまざまな陳情案件を提出し、幡多圏域の人口減少の解消

や地域住民の利便性の向上に努め、活性化に取り組んでいる。一市町村では整備できない事業は、幡多広域市町村圏事務組合で協議し住民サービスに努めている。今後も幡多は一つと考えているので、他市町村にも提案したいと思う。

文化財保護

月山神社天井絵の修復

寄付金活動している

／教育長

問 大月町才角の月山神社は四国八十八力所番外札所として知名度も上がり、多くの参拝者が訪れるようになった。しかし、長年の風化により天井絵の傷みが進んでいるので修復すべきではないか。

また、大月町の文化財に指定できないか。

浜崎教育長 平成14年に財団法人文化財保護振興財団の助成により

太子堂の屋根・瓦・桁の原状回復と天井絵の取り外し清掃をした経緯がある。また、四十風景街道推進協議会で天井絵のポスターを作成して広報活動を行うと同時に、修繕費に充てるための寄付金活動を行っている。文化財の保護と観光の一環として、大月町の宝物として残したいと考えている。



貴重な天井絵

みんなの
広 場

私の願い

海をよみがえらそう

橘浦

酒井

やすし
康 さん

大月町の海はどこにも負けない透明度を誇り、色鮮やかな魚が多くすみつき観光客やダイバーの目を楽しませている。

しかし、よく見ると昔の海と少し違う。

10数年前からウニが異常に多くなって海藻がなくなり、「磯焼け」

が起きトコブシなどの貝類が獲れなくなった。

原因はいろいろあると思うが、3、4年前からウニの駆除を始めると海藻が元のようになって貝類が増えていく場所もある。

まずは乱獲を避け、環境を整え、海をよみがえらすことである。



大月町で暮らして

まこと
芝 横地 誠 さん

私の母は平成3年に大月町に帰郷しました。私も平成12年に母の側で暮らすために都会から移住してきました。

美しい山と海。すばらしい環境に酔いしれました。しかし、暮らしていくための仕事を探すのは楽ではありません。

せんでした。転職を繰り返して、今は古満目の大敷に勤め、空いた時間に林業や農業を営んでいます。

母の子どもの頃はどこの家も苦しい生活を送っていましたが、子どもたちのにぎやかな声にあふれ、活気ある

町だったそうです。その町が人口減少に悩んでいることは、とても悲しいことです。

私を受け入れてくれた「大月の町」と「すばらしい仲間たち」に感謝し、何らかの方法で地域に貢献していきたいと思っています。



こんにちは



3代続いた豆腐屋さん

西泊

ちよき

山口 千代喜さん (75歳)

豆腐作りをしている西泊の山口千代喜さんを訪ねました。

私が作業場に着的いた時は、大きな釜から湯気が立ちこめていました。

「昨日の午後4時頃から大豆を一晩水につけ、ふやかしてからミキサーにかけ、それを煮て豆腐にするがよ。1釜で18丁の豆腐が取れるねえ。うちは週2回作りよるがよ」。千代喜さんはここに笑いながら答えてくれました。

「ここは、くまばあ、あやちゃん、そして私と3代続いている。私は豆腐作りを始めて7年くらいになるかな。せっかく来たがやけん、味も知らんといかんね」。そう言つて、できたての豆乳と豆腐を出してくれました。一口食べると、温かさとともに大豆の香りが口いっぱいに広がりました。「おいしい」。思わず声を上げました。もう何十年になるのでしょうか。地域と共に歩み続けた豆腐屋さんの歴史の重みを感じながら豆乳と豆腐を頂きました。

「豆腐作りで何が一番楽しいですか」と尋ねると「そうやねえ、豆腐が固まるところかな。それと、孫や地域の人が喜んで食べてくれるところ」と嬉しそうに答えてくれました。

2時間ほどお邪魔したでしょうか。商売抜きで、真心こめて豆腐を作る千代喜さんに感謝しながら、私は作業場を後にしました。

編集後記

パソコンやスマートフォン等情報機器が急速に発達し、便利な世の中になった。

しかし、一つの情報が全てであるかのように捉えられることもある。指先ひとつで何でも分かる便利な時代の反面、個人情報漏えいなど危険な一面も多い。

インターネットが普及する中、それぞれが情報を精査し適正な使い方をすることが望まれる。

(野村満久)

議会広報常任委員会

委員長	浦木 秀雄
副委員長	山本 恒和
委員	安岡 邦彦
委員	野村 満久
委員	久米 里志